

これまでを振り返って

北九州支部 北九州県土整備事務所 八野敦子

1. はじめに

昨年4月に社会人になって、北九州県土整備事務所に配属され、もうすぐ1年がたとうとしています。この1年間は新社会人、公務員として新しく経験すること、学ぶことだらけで、あっという間だったと感じています。ここ最近、職場の周りの方から「最近どう？」と尋ねられて、春ごろと比べると慣れてきたけれどまだできないことだらけだし…と考えてしまい、「いや、どうなんですかね…」となかなかうまく答えられないことがあります。今回投稿の機会をいただいたので、入庁してからこれまでの振り返りと今後の目標について書いていこうと思います。

2. 業務について

4月、初めて事務所へ登庁し、配属が“河川砂防課砂防港湾係”と伝えられました。職場でうまくやっていけるだろうかと緊張していて、係の名前すら噛みまくっていましたが、事務所の方々、特に係の方々優しく接してくださって安心したので今でも覚えています。

砂防港湾係は、管内の砂防・急傾斜地の対策及び維持補修、海岸の対策及び維持補修を担当する部署です。急傾斜地崩壊対策事業では、一定の基準を満たすがけに対し、県が地権者に代わって崩壊防止工事を行います。この急傾斜地崩壊対策事業を知るまでは、行政が行うインフラ整備というと、道路事業のように幅広い県民の方のための事業というイメージでしたが、限定的な人のための事業もあるのは意外と感じた一方で、土砂災害に対して脆弱な土地に対しハード整備を行っていくのは災害に強い県づくりに直結していると思い、やりがいを感じます。これまで急傾斜事業の擁壁工事と法枠工事を担当しましたが、知らないこと分からないことがあまりにも多すぎて、何をすることも難しいなあというのが正直な感想でした。設計書作成では実際の施工作业や手順がイメージできず戸惑ったり、実際工事が始まると、業者さんからの質問に対してすぐに適切な回答ができなかったりしました。でも先輩方に質問や相談するとすぐに教えてくださるし、たくさんのお仕事、仕事をすいすいとこなされていて、尊敬の念を覚えます。と同時に、先輩方との差を強く感じてしまったり不安になることもあります。でも1つ1つの知らない事柄、分からない事柄に出会う機会をチャンスと思って、積極的に調べて、先輩方に教えていただきながら学んでいきたいと思っています。

3. おわりに

新採としての1年が残り数か月になりましたが、まだ仕事に慣れること、仕事をこなすことで精一杯で、将来こんな土木技術者になりたい！という明確な目標はまだ描けていません。ですが、2年目を迎えるにあたって、目標にしていることが2つあります。1つ目は、

目の前にある自分の仕事を、スケジュールをきちんと守ってこなせるようになることです。今年はそのそれぞれの事柄がどのくらい時間のかかることなのか考えることができず、見通しの甘さから周りの方に迷惑をかけてしまうことがありました。今後は優先順位を意識しながら、大きな段取りと細かな段取りを自分なりに考えた上で1つ1つの仕事を進めていけるようになりたいと思います。2つ目は幅広い視野をもって、いろいろな知識や考え方を吸収することです。先輩方の姿から事業の進め方や考え方を学んでいきたいです。

先輩方のような立派な土木技術者となれるように、これからも努力を重ねていきたいと思っております。今後ともよろしく願いいたします。